

佐教社工第 8－2 号

あいかわ開発総合センター玄関ポーチ復旧工事

図面リスト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A－00	表紙・図面リスト	FREE
A－01	建築改修工事特記仕様書1	FREE
A－02	建築改修工事特記仕様書2	FREE
A－03	建築改修工事特記仕様書3	FREE
A－04	建築改修工事特記仕様書4	FREE
A－05	建築改修工事特記仕様書5	FREE
A－06	建築改修工事特記仕様書6	FREE
A－07	配置図・付近見取り図・工事概要	1:500
A－08	1階平面図	1:100
A－09	南面・東面立面図	1:100
A－10	北面・西面立面図	1:100
A－11	矩計図	1:30
A－12	ポーチ鉄骨図・雑配筋図	各記
A－13	詳細図	1:20

建設施工第8-2号
あいかわ開発総合センター玄関ポーチ復旧工事
設計図

佐渡市教育委員会 社会教育課

仕 様 書

I 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「改修仕様」という。）により、改修仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「仕様」という。）による。

2. 改修仕様に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
(1) 「工事請負契約書」を「佐渡市財務規則（平成16年3月1日規則第54号）別記（令6規則9・一部改正）佐渡市建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。
(2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する改修仕様の項目について、改修仕様の規定を別表に置き換えて適用する。
(1) 1章 各章共通事項 1節 共通事項
1.1.2用語の定義の(7)、(8)及び(9)
(2) " 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2)
(3) " 1.4.4材料の検査等の(1)
(4) " 1.8.1工事検査の(2)及び(3)

4. 改修仕様の次の項目の規定は適用しない。
1章 1.1.2 用語の定義の(2)
" 1.8.2 技術検査

別 表（建築改修工事）

号	項 目	置 き 換 え 後 の 改 修 標 仕 の 規 定
	1章 各章共通事項 1節 共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (8)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県GALSシステム士で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (9)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。 (ただし、②に係る検査を除く。) ① 工事の完成（約款第32条） ② 部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③ 部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④ 契約の解除における出来形部分（約款第48条） ⑤ 必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）
(2)	1.4.2材料の品質等	(1) 工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修仕様及び設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2) 使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(9)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7) 建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (8) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修仕様及び仕様仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (9) 特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4 材料の検査等	(1) 工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(7)若しくは(8)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7) 工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (8) 建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.8.1 工事検査	(2) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

II 特記仕様

1. 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項の記載の〔 〕内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の（ ）内表示番号は、構仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。

章	項 目	特 記 事 項
① 各章共通事項	1 工事実績情報システム（コリンズ）への登録	※請負工事費500万円以上の場合、登録する [1.1.4]
② 共通事項	2 情報共有システムの適用	共通事項特記1「請負工事における電子納品に関する特記仕様書」による。 [1.1.5]
③ 共通事項	3 遠隔臨場の適用	共通事項特記2「遠隔臨場に関する特記仕様書」による。 [1.1.14]
④ 共通事項	4 概成工期	※工期 令和 年 月 日 [1.2.1]
⑤ 共通事項	5 内部の工事期間等	※着手 令和 年 月 日 ～ 終了 令和 年 月 日 までとする。 ※部分使用に係る条件に変更がある場合は、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査
⑥ 品質計画等		建築基準法に基づき指定する条件 [1.2.2] ・地区の区分に応じた風速（V ₀ （m/sec）） ・ 3.0 3.2 ・地表面粗度区分 ・ I ・ II 3.3 3.4 ・多雪地域の指定 積雪区分 告示第1455号 別表（ ）
⑦ 工事の記録等		契約書に基づく履行報告に当たり、報告に用いる書式等は「工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課）」による。 [1.2.4]
8 電気保安技術者		※要（ ） [1.3.3]
⑨ 発生材の処理等		1.0追加特記 7「発生材の処理等」による。 [1.3.12]
10 特別な材料の工法		改修仕様及び仕様仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。
11 石綿含有建材の事前調査		9 環境配慮改修工事 1「石綿含有建材の処理」による。 [1.5.1]
12 施工数量調査の方法		目視及び打診（必要に応じて破壊）による調査を行う。調査範囲及び調査内 [1.6.2] 容は各章による。
13 技能士		[1.7.2]

[illegible]

5 建 具 改 修 工 事	8 鋼製軽量建具 (標準型鋼製軽量 建具を含む)	簡易気密型ﾄﾞｱｼｰﾄの等級(気密性：A-3)：※適用は建具表による [5.5.2][5.5.6] 耐震ﾄﾞｱとする場合の面内変形追随性の等級：・D-1 ・D-2 ・D-3 [5.5.2] 鋼板類の種類 ・垂始めつき鋼板 ・ﾋﾞﾆｰﾙ被覆鋼板 ・ｶｰﾎﾞﾝ鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 [5.5.3] 防音性を求める場合の充填剤：・ｸﾞﾗｳﾝｸﾞｰﾙ ・ﾛｯｸｳｰﾙ [5.5.3]	5 19 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ [5.14.3]	6 8 集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等 [6.5.2] <table><tr><th>品 名</th><th>施工箇所</th><th>芯材 の樹種</th><th>化粧単板 の樹種</th><th>化粧単板 の厚さ(mm)</th><th>寸法</th><th>見付け材面 の品質</th></tr><tr><td>・造作用集成材</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示※1等・2等</td><td>・</td></tr><tr><td>・化粧ばり造作用集成材</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示※1等・2等</td><td>・</td></tr><tr><td>・化粧ばり構造用集成材</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示・1等・2等</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※図示・</td><td>・</td></tr></table> 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材等 [6.5.2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>※図示</td><td>・</td><td>※15%以下</td></tr></table> 造作用単板積層材 [6.5.2] <table><tr><th>品名</th><th>施工箇所</th><th>寸法</th><th>表面の品質</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>※図示</td><td>・化粧加工の有り (・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工なし(等級：))</td><td>・適用</td></tr></table> 上記以外の造作用単板積層材 [6.5.2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法</th><th>表面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・</td><td>※図示</td><td>・化粧加工の有り (・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工なしの場合の品質：※図示)</td><td>・14%以下</td><td>・適用</td></tr></table> 直交集成板(ＣＬＴ) [6.5.2] <table><tr><th>品 名</th><th>施工箇所</th><th>曲げ性能 (強度等級)</th><th>種別</th><th>接着性能 (使用環境)</th><th>樹種</th><th>寸法</th></tr><tr><td>・異等級構成直交集成板</td><td></td><td>・</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A・B ・C</td><td>・</td><td>※図示</td></tr><tr><td>・同一等級構成直交集成板</td><td></td><td>・</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A・B ・C</td><td>・</td><td>※図示</td></tr></table> 「合板の日本農林規格」による合板等 [6.5.2] <table><tr><th>品 名</th><th>厚さ(mm)</th><th>接着の程度</th><th>等級、板面の品質等</th><th>樹種</th><th>保存処理</th></tr><tr><td>・普通合板</td><td>※5.5</td><td>※1類・2類 ※広葉樹：2等 ※針葉樹：C-D以上</td><td>・</td><td>・</td><td>－</td></tr><tr><td>・構造用合板</td><td>※12</td><td>・特種※1類 ・特種・2類</td><td>※2級以上 ※C-D以上</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・化粧ばり構造用合板</td><td>・</td><td>・特種・2類</td><td>－</td><td>・</td><td>－</td></tr><tr><td>・天然木化粧合板</td><td>・</td><td>・1類・2類</td><td>－</td><td>・</td><td>－</td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板</td><td>・</td><td>・1類・2類</td><td>・</td><td>・</td><td>－</td></tr><tr><td>・ﾊﾞｰﾅｸﾞﾙｰﾄﾞ</td><td>※15</td><td>－</td><td>※13ﾀｲﾌﾟ ※M又はPﾀｲﾌﾟ</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>・構造用ﾊﾞｰﾙ</td><td>・</td><td>－</td><td>※JAS 0360</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>・MDF</td><td>・</td><td>－</td><td>・</td><td>－</td><td>－</td></tr></table> ・上記合板の防虫処理の適用 防虫処理 ・行う(適用範囲 改修標仕6.5.5(1)による ・図示) [6.5.5] 防蟻処理 ・行う(適用範囲) [6.5.5] 防腐・防蟻剤はｸﾛﾋﾞﾘｰｽﾞ等を含まない非有機シリコンの表面処理用木材保存剤とし、 種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。 防腐・防蟻処理の方法 工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <table><tr><th>適用部材</th><th>保存処理性能区分</th></tr><tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr></table> ※ 現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面 処理用木材保存剤を塗布することとする。 ・ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理の適用 防虫処理 ・行う(適用範囲) [6.5.5] 不燃処理木材等の使用 ・使用する(使用範囲：) [6.5.5] 屋外の場合の形式及び寸法 [6.6.3][表6.6.2]による ※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による <table><tr><th colspan="2">下地材の間隔(mm)</th><th rowspan="2">施 工 箇 所</th></tr><tr><th>野縁受、吊りボルト、インサート</th><th>野 縁</th></tr><tr><td>中央部</td><td>周辺部</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を 改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 屋内及び屋外の場合の試験 既存の埋込インサート ・使用する ・使用しない [6.6.4] 既存の埋込インサートとあと施工ﾌｧｰﾏの引抜き試験 ・行う [6.6.4] 箇所数 ※当該階において3箇所程度(屋内の場合) ・図示 荷重 ※400N程度 ・ ﾀﾞｲﾔｸﾞﾗﾑ等でつりボルト間隔が900mmを超える場合の補強：※図示 ・ [6.6.4] ふところが3mを超える場合の補強：※図示 ・ [6.6.4] 屋外の天井の補強：※図示 ・改修標仕6.6.4(11)による [6.6.4] 軽量鉄骨壁下地のｽﾀﾝﾄﾞ高さが5mを超える場合の措置：※図示 ・ [6.6.4]	品 名	施工箇所	芯材 の樹種	化粧単板 の樹種	化粧単板 の厚さ(mm)	寸法	見付け材面 の品質	・造作用集成材	・	・	・	・	※図示※1等・2等	・	・化粧ばり造作用集成材	・	・	・	・	※図示※1等・2等	・	・化粧ばり構造用集成材	・	・	・	・	※図示・1等・2等	・	・	・	・	・	・	※図示・	・	施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	・	・	※図示	・	※15%以下	品名	施工箇所	寸法	表面の品質	防虫処理	・	・	※図示	・化粧加工の有り (・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工なし(等級：))	・適用	施工箇所	寸法	表面の品質	含水率	防虫処理	・	※図示	・化粧加工の有り (・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工なしの場合の品質：※図示)	・14%以下	・適用	品 名	施工箇所	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法	・異等級構成直交集成板		・	・A種 ・B種	・A・B ・C	・	※図示	・同一等級構成直交集成板		・	・A種 ・B種	・A・B ・C	・	※図示	品 名	厚さ(mm)	接着の程度	等級、板面の品質等	樹種	保存処理	・普通合板	※5.5	※1類・2類 ※広葉樹：2等 ※針葉樹：C-D以上	・	・	－	・構造用合板	※12	・特種※1類 ・特種・2類	※2級以上 ※C-D以上	・	・	・化粧ばり構造用合板	・	・特種・2類	－	・	－	・天然木化粧合板	・	・1類・2類	－	・	－	・特殊加工化粧合板	・	・1類・2類	・	・	－	・ﾊﾞｰﾅｸﾞﾙｰﾄﾞ	※15	－	※13ﾀｲﾌﾟ ※M又はPﾀｲﾌﾟ	－	－	・構造用ﾊﾞｰﾙ	・	－	※JAS 0360	－	－	・MDF	・	－	・	－	－	適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4	下地材の間隔(mm)		施 工 箇 所	野縁受、吊りボルト、インサート	野 縁	中央部	周辺部					6 内 装 改 修 工 事
品 名	施工箇所	芯材 の樹種	化粧単板 の樹種	化粧単板 の厚さ(mm)	寸法	見付け材面 の品質																																																																																																																																																										
・造作用集成材	・	・	・	・	※図示※1等・2等	・																																																																																																																																																										
・化粧ばり造作用集成材	・	・	・	・	※図示※1等・2等	・																																																																																																																																																										
・化粧ばり構造用集成材	・	・	・	・	※図示・1等・2等	・																																																																																																																																																										
・	・	・	・	・	※図示・	・																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																												
・	・	※図示	・	※15%以下																																																																																																																																																												
品名	施工箇所	寸法	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																												
・	・	※図示	・化粧加工の有り (・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工なし(等級：))	・適用																																																																																																																																																												
施工箇所	寸法	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																												
・	※図示	・化粧加工の有り (・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工なしの場合の品質：※図示)	・14%以下	・適用																																																																																																																																																												
品 名	施工箇所	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法																																																																																																																																																										
・異等級構成直交集成板		・	・A種 ・B種	・A・B ・C	・	※図示																																																																																																																																																										
・同一等級構成直交集成板		・	・A種 ・B種	・A・B ・C	・	※図示																																																																																																																																																										
品 名	厚さ(mm)	接着の程度	等級、板面の品質等	樹種	保存処理																																																																																																																																																											
・普通合板	※5.5	※1類・2類 ※広葉樹：2等 ※針葉樹：C-D以上	・	・	－																																																																																																																																																											
・構造用合板	※12	・特種※1類 ・特種・2類	※2級以上 ※C-D以上	・	・																																																																																																																																																											
・化粧ばり構造用合板	・	・特種・2類	－	・	－																																																																																																																																																											
・天然木化粧合板	・	・1類・2類	－	・	－																																																																																																																																																											
・特殊加工化粧合板	・	・1類・2類	・	・	－																																																																																																																																																											
・ﾊﾞｰﾅｸﾞﾙｰﾄﾞ	※15	－	※13ﾀｲﾌﾟ ※M又はPﾀｲﾌﾟ	－	－																																																																																																																																																											
・構造用ﾊﾞｰﾙ	・	－	※JAS 0360	－	－																																																																																																																																																											
・MDF	・	－	・	－	－																																																																																																																																																											
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																															
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																															
下地材の間隔(mm)		施 工 箇 所																																																																																																																																																														
野縁受、吊りボルト、インサート	野 縁																																																																																																																																																															
中央部	周辺部																																																																																																																																																															
9 ステンレス製建具	簡易気密型ﾄﾞｱｼｰﾄの等級(気密性：A-1、水密性：W-1)：[5.4.2][5.6.2][表5.4.1] ※適用は建具表による 耐震ﾄﾞｱとする場合の面内変形追随性の等級：・D-1 ・D-2 ・D-3 [5.6.2] 外部に面する建具の耐風圧性：・S-4 ・S-5 ・S-6 [5.4.2][5.6.2][表5.2.1]	20 ｶﾞﾗｽｳｲﾝﾄﾞﾌｫｰﾑ	9 合板等	「合板の日本農林規格」による合板等 [6.5.2] <table><tr><th>品 名</th><th>施工箇所</th><th>曲げ性能 (強度等級)</th><th>種別</th><th>接着性能 (使用環境)</th><th>樹種</th><th>寸法</th></tr><tr><td>・異等級構成直交集成板</td><td></td><td>・</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A・B ・C</td><td>・</td><td>※図示</td></tr><tr><td>・同一等級構成直交集成板</td><td></td><td>・</td><td>・A種 ・B種</td><td>・A・B ・C</td><td>・</td><td>※図示</td></tr></table> 「合板の日本農林規格」による合板等 [6.5.2] <table><tr><th>品 名</th><th>厚さ(mm)</th><th>接着の程度</th><th>等級、板面の品質等</th><th>樹種</th><th>保存処理</th></tr><tr><td>・普通合板</td><td>※5.5</td><td>※1類・2類 ※広葉樹：2等 ※針葉樹：C-D以上</td><td>・</td><td>・</td><td>－</td></tr><tr><td>・構造用合板</td><td>※12</td><td>・特種※1類 ・特種・2類</td><td>※2級以上 ※C-D以上</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・化粧ばり構造用合板</td><td>・</td><td>・特種・2類</td><td>－</td><td>・</td><td>－</td></tr><tr><td>・天然木化粧合板</td><td>・</td><td>・1類・2類</td><td>－</td><td>・</td><td>－</td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板</td><td>・</td><td>・1類・2類</td><td>・</td><td>・</td><td>－</td></tr><tr><td>・ﾊﾞｰﾅｸﾞﾙｰﾄﾞ</td><td>※15</td><td>－</td><td>※13ﾀｲﾌﾟ ※M又はPﾀｲﾌﾟ</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>・構造用ﾊﾞｰﾙ</td><td>・</td><td>－</td><td>※JAS 0360</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>・MDF</td><td>・</td><td>－</td><td>・</td><td>－</td><td>－</td></tr></table> ・上記合板の防虫処理の適用 防虫処理 ・行う(適用範囲 改修標仕6.5.5(1)による ・図示) [6.5.5] 防蟻処理 ・行う(適用範囲) [6.5.5] 防腐・防蟻剤はｸﾛﾋﾞﾘｰｽﾞ等を含まない非有機シリコンの表面処理用木材保存剤とし、 種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。 防腐・防蟻処理の方法 工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <table><tr><th>適用部材</th><th>保存処理性能区分</th></tr><tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr></table> ※ 現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面 処理用木材保存剤を塗布することとする。 ・ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理の適用 防虫処理 ・行う(適用範囲) [6.5.5] 不燃処理木材等の使用 ・使用する(使用範囲：) [6.5.5] 屋外の場合の形式及び寸法 [6.6.3][表6.6.2]による ※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による <table><tr><th colspan="2">下地材の間隔(mm)</th><th rowspan="2">施 工 箇 所</th></tr><tr><th>野縁受、吊りボルト、インサート</th><th>野 縁</th></tr><tr><td>中央部</td><td>周辺部</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を 改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 屋内及び屋外の場合の試験 既存の埋込インサート ・使用する ・使用しない [6.6.4] 既存の埋込インサートとあと施工ﾌｧｰﾏの引抜き試験 ・行う [6.6.4] 箇所数 ※当該階において3箇所程度(屋内の場合) ・図示 荷重 ※400N程度 ・ ﾀﾞｲﾔｸﾞﾗﾑ等でつりボルト間隔が900mmを超える場合の補強：※図示 ・ [6.6.4] ふところが3mを超える場合の補強：※図示 ・ [6.6.4] 屋外の天井の補強：※図示 ・改修標仕6.6.4(11)による [6.6.4] 軽量鉄骨壁下地のｽﾀﾝﾄﾞ高さが5mを超える場合の措置：※図示 ・ [6.6.4]	品 名	施工箇所	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法	・異等級構成直交集成板		・	・A種 ・B種	・A・B ・C	・	※図示	・同一等級構成直交集成板		・	・A種 ・B種	・A・B ・C	・	※図示	品 名	厚さ(mm)	接着の程度	等級、板面の品質等	樹種	保存処理	・普通合板	※5.5	※1類・2類 ※広葉樹：2等 ※針葉樹：C-D以上	・	・	－	・構造用合板	※12	・特種※1類 ・特種・2類	※2級以上 ※C-D以上	・	・	・化粧ばり構造用合板	・	・特種・2類	－	・	－	・天然木化粧合板	・	・1類・2類	－	・	－	・特殊加工化粧合板	・	・1類・2類	・	・	－	・ﾊﾞｰﾅｸﾞﾙｰﾄﾞ	※15	－	※13ﾀｲﾌﾟ ※M又はPﾀｲﾌﾟ	－	－	・構造用ﾊﾞｰﾙ	・	－	※JAS 0360	－	－	・MDF	・	－	・	－	－	適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4	下地材の間隔(mm)		施 工 箇 所	野縁受、吊りボルト、インサート	野 縁	中央部	周辺部					6 内 装 改 修 工 事																																																																	
品 名	施工箇所	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法																																																																																																																																																										
・異等級構成直交集成板		・	・A種 ・B種	・A・B ・C	・	※図示																																																																																																																																																										
・同一等級構成直交集成板		・	・A種 ・B種	・A・B ・C	・	※図示																																																																																																																																																										
品 名	厚さ(mm)	接着の程度	等級、板面の品質等	樹種	保存処理																																																																																																																																																											
・普通合板	※5.5	※1類・2類 ※広葉樹：2等 ※針葉樹：C-D以上	・	・	－																																																																																																																																																											
・構造用合板	※12	・特種※1類 ・特種・2類	※2級以上 ※C-D以上	・	・																																																																																																																																																											
・化粧ばり構造用合板	・	・特種・2類	－	・	－																																																																																																																																																											
・天然木化粧合板	・	・1類・2類	－	・	－																																																																																																																																																											
・特殊加工化粧合板	・	・1類・2類	・	・	－																																																																																																																																																											
・ﾊﾞｰﾅｸﾞﾙｰﾄﾞ	※15	－	※13ﾀｲﾌﾟ ※M又はPﾀｲﾌﾟ	－	－																																																																																																																																																											
・構造用ﾊﾞｰﾙ	・	－	※JAS 0360	－	－																																																																																																																																																											
・MDF	・	－	・	－	－																																																																																																																																																											
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																															
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																															
下地材の間隔(mm)		施 工 箇 所																																																																																																																																																														
野縁受、吊りボルト、インサート	野 縁																																																																																																																																																															
中央部	周辺部																																																																																																																																																															
10 木製建具	建具材の加工及び組立時の含水率：※A種(15%以下) ・B種(18%以下) [5.7.2] 桧及びくつずりの材料：※図示 [5.7.2] フラッシュ戸 [5.7.2][5.7.3][5.7.4][表5.7.6] 表面材の種類 ※建具表による MDFﾎｰﾄﾞの区分 表表面の状態(・) 曲げ強さ(・) 耐水性(・) 難燃性(・) [5.7.2] 定規線引戸を召合せかまちをいんろう付きとする場合 ※適用は建具表による かまち戸 [5.7.2] かまちの樹種(・) 鏡板の樹種(・) [5.7.2] ふすま [5.7.2][5.7.4] ふすまの種類 ・I型 ・II型 ふすまの上張り ・鳥の子 ・新鳥の子 ・ﾋﾞﾆｰﾙ紙程度 ・雲花紙程度(押入裏側) ふすま縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁	6 1 基本要求品質 [6.1.2] 特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のﾋﾞﾆｰﾙの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。 2 改修範囲 [6.1.3] ・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 [6.1.3] ・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 [6.1.3] ・既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示の範囲 [1.5.2] 下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。 ・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾄﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾞﾗｳﾞｧｰ、ﾎｰﾄﾞ等の面調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。 ﾓﾙﾄﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾞﾗｳﾞｧｰの浮き部分を壁面に表示する。また、ﾓﾙﾄﾙの欠陥部分(ﾓﾙﾄﾙ目地を含む。)を調査する。 仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。 ・ｶｰﾎﾞｰ工法による床・壁・天井改修箇所の下地材調査内容 既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。 天井下地組の強度、腐朽状況を調査する ・改修工事後も使用する建具(枠、縦横を含む。)調査内容 建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。 ・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。 ・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したもののについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。	6 1 基本要求品質 [6.1.2] 特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のﾋﾞﾆｰﾙの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。 2 改修範囲 [6.1.3] ・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 [6.1.3] ・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 [6.1.3] ・既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示の範囲 [1.5.2] 下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。 ・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾄﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾞﾗｳﾞｧｰ、ﾎｰﾄﾞ等の面調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。 ﾓﾙﾄﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾞﾗｳﾞｧｰの浮き部分を壁面に表示する。また、ﾓﾙﾄﾙの欠陥部分(ﾓﾙﾄﾙ目地を含む。)を調査する。 仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。 ・ｶｰﾎﾞｰ工法による床・壁・天井改修箇所の下地材調査内容 既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。 天井下地組の強度、腐朽状況を調査する ・改修工事後も使用する建具(枠、縦横を含む。)調査内容 建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。 ・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。 ・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したもののについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。	6 内 装 改 修 工 事																																																																																																																																																												
11 建具用金具	※金物の種類及び材質は[表5.8.1]により、特記の内容は建具表による [5.8.2] ※握り玉、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、押板類、ｸﾚﾝﾁ等の取付け位置は建具表による [5.8.3] ﾏｽｶｰ ・製作する(本) ※製作しない [5.8.4] 鍵札数量：※錠前1組に2枚とする ・錠前1組に 枚とする かぎ箱：※鋼製の既製品(形式：・30組用 ・60組用 ・120組用 ・)	6 2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ・ﾋﾞﾆｰﾙ床ｼｰﾄ等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地ﾓﾙﾄﾙとも(※図示の範囲) ・行わない(※図示の範囲) [6.2.2] ・合成樹脂塗り床の材の除去工法 ・機械的除去工法 ※目荒工法 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ※図示 ・[4.3.10]ﾓﾙﾄﾙ塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ｽﾃﾝﾚｽ製ﾌｧｰﾐﾝｸﾞを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽ等を張る。 ・図示 6 木下地等 [6.5.1] 見え掛り面の表面仕上げ程度： ※ﾌﾟﾚｰﾅｰ加工仕上げ程度 ・超自動機械かんな ・サンダー ・ 7 製材 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材 <table><tr><th>品 名</th><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>等級</th><th>寸法</th><th>含水率</th><th>保存処理</th></tr><tr><td>・下地用</td><td>・</td><td>・</td><td>※2級</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・上小節 ・小節以上</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・造作用</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・広葉樹製材</td><td>・</td><td>・</td><td>※1等</td><td>※図示</td><td>※10%以下 ・A種・B種</td><td>・</td></tr></table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>材面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>※図示</td><td>・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種</td><td>・</td><td>・適用</td></tr></table> ・樹種のうち杉は、県産材を使用する	品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・	・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・	・造作用	・	・	・	・	・	・	・針葉樹製材		・	・	・	・	・	・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・	施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理	・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用	6 内 装 改 修 工 事																																																																																																							
品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理																																																																																																																																																										
・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・造作用	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																											
・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用																																																																																																																																																											
12 自動ﾄﾞｱ開閉装置	引き戸用検出装置の性能は[表5.9.3]により、防錆の適用は建具表による [5.9.2] 自動ﾄﾞｱの開閉機構 [5.9.2][表5.9.4] <table><tr><th>開 閉 方 法</th><th>引 き 戸 用 検 出 装 置 の 種 類</th></tr><tr><td>※ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ ・ｽﾗﾝｸﾞﾄﾞｱ</td><td>・ｸﾚﾝﾁｽﾗｲﾄﾞ(・無線式・光線式) ※光線(反射)センサー ・音波センサー ・熱線センサー ・光電センサー ・電波センサー ・押しボタンスライダ ・多機能トランスミッタ(・大形開閉ﾀﾞｲﾏｰ、非接触)</td></tr></table> 凍結防止措置 ※行わない ・行う(・)	開 閉 方 法	引 き 戸 用 検 出 装 置 の 種 類	※ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ ・ｽﾗﾝｸﾞﾄﾞｱ	・ｸﾚﾝﾁｽﾗｲﾄﾞ(・無線式・光線式) ※光線(反射)センサー ・音波センサー ・熱線センサー ・光電センサー ・電波センサー ・押しボタンスライダ ・多機能トランスミッタ(・大形開閉ﾀﾞｲﾏｰ、非接触)	6 2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ・ﾋﾞﾆｰﾙ床ｼｰﾄ等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地ﾓﾙﾄﾙとも(※図示の範囲) ・行わない(※図示の範囲) [6.2.2] ・合成樹脂塗り床の材の除去工法 ・機械的除去工法 ※目荒工法 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ※図示 ・[4.3.10]ﾓﾙﾄﾙ塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ｽﾃﾝﾚｽ製ﾌｧｰﾐﾝｸﾞを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽ等を張る。 ・図示 6 木下地等 [6.5.1] 見え掛り面の表面仕上げ程度： ※ﾌﾟﾚｰﾅｰ加工仕上げ程度 ・超自動機械かんな ・サンダー ・ 7 製材 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材 <table><tr><th>品 名</th><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>等級</th><th>寸法</th><th>含水率</th><th>保存処理</th></tr><tr><td>・下地用</td><td>・</td><td>・</td><td>※2級</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・上小節 ・小節以上</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・造作用</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・広葉樹製材</td><td>・</td><td>・</td><td>※1等</td><td>※図示</td><td>※10%以下 ・A種・B種</td><td>・</td></tr></table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>材面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>※図示</td><td>・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種</td><td>・</td><td>・適用</td></tr></table> ・樹種のうち杉は、県産材を使用する	品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・	・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・	・造作用	・	・	・	・	・	・	・針葉樹製材		・	・	・	・	・	・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・	施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理	・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用	6 内 装 改 修 工 事																																																																																																			
開 閉 方 法	引 き 戸 用 検 出 装 置 の 種 類																																																																																																																																																															
※ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ ・ｽﾗﾝｸﾞﾄﾞｱ	・ｸﾚﾝﾁｽﾗｲﾄﾞ(・無線式・光線式) ※光線(反射)センサー ・音波センサー ・熱線センサー ・光電センサー ・電波センサー ・押しボタンスライダ ・多機能トランスミッタ(・大形開閉ﾀﾞｲﾏｰ、非接触)																																																																																																																																																															
品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理																																																																																																																																																										
・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・造作用	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																											
・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用																																																																																																																																																											
13 自閉式上吊り 引戸装置	※適用する(適用建具及び性能は建具表による) [5.10.1]	6 3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2][4.3.10] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ※図示 ・[4.3.10]ﾓﾙﾄﾙ塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ｽﾃﾝﾚｽ製ﾌｧｰﾐﾝｸﾞを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽ等を張る。 ・図示 6 木下地等 [6.5.1] 見え掛り面の表面仕上げ程度： ※ﾌﾟﾚｰﾅｰ加工仕上げ程度 ・超自動機械かんな ・サンダー ・ 7 製材 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材 <table><tr><th>品 名</th><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>等級</th><th>寸法</th><th>含水率</th><th>保存処理</th></tr><tr><td>・下地用</td><td>・</td><td>・</td><td>※2級</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・上小節 ・小節以上</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・造作用</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・広葉樹製材</td><td>・</td><td>・</td><td>※1等</td><td>※図示</td><td>※10%以下 ・A種・B種</td><td>・</td></tr></table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>材面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>※図示</td><td>・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種</td><td>・</td><td>・適用</td></tr></table> ・樹種のうち杉は、県産材を使用する	品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・	・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・	・造作用	・	・	・	・	・	・	・針葉樹製材		・	・	・	・	・	・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・	施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理	・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用	6 内 装 改 修 工 事																																																																																																							
品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理																																																																																																																																																										
・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・造作用	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																											
・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用																																																																																																																																																											
14 重量ｼｬｯﾀｰ	外部に面するｼｬｯﾀｰの耐風圧強度(・) N/m ² [5.11.2] 開閉機能： ※電動式(手動併用) ・手動式 [5.11.2][表5.11.1] 急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動ｼｬｯﾀｰの設置箇所：・図示 障害物感知装置を設けた電動ｼｬｯﾀｰの設置箇所：・図示 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防火ｼｬｯﾀｰの危害防止機構の設置箇所：・図示 危害防止機構： ・危害防止装置 ・可動座板式 一般重量ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｽ ﾀﾞｰｽ ※設ける ・設けない [5.11.2]	6 3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2][4.3.10] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ※図示 ・[4.3.10]ﾓﾙﾄﾙ塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ｽﾃﾝﾚｽ製ﾌｧｰﾐﾝｸﾞを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽ等を張る。 ・図示 6 木下地等 [6.5.1] 見え掛り面の表面仕上げ程度： ※ﾌﾟﾚｰﾅｰ加工仕上げ程度 ・超自動機械かんな ・サンダー ・ 7 製材 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材 <table><tr><th>品 名</th><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>等級</th><th>寸法</th><th>含水率</th><th>保存処理</th></tr><tr><td>・下地用</td><td>・</td><td>・</td><td>※2級</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・上小節 ・小節以上</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・造作用</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・広葉樹製材</td><td>・</td><td>・</td><td>※1等</td><td>※図示</td><td>※10%以下 ・A種・B種</td><td>・</td></tr></table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>材面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>※図示</td><td>・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種</td><td>・</td><td>・適用</td></tr></table> ・樹種のうち杉は、県産材を使用する	品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・	・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・	・造作用	・	・	・	・	・	・	・針葉樹製材		・	・	・	・	・	・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・	施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理	・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用	6 内 装 改 修 工 事																																																																																																							
品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理																																																																																																																																																										
・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・造作用	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																											
・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用																																																																																																																																																											
15 軽量ｼｬｯﾀｰ	外部に面するｼｬｯﾀｰの耐風圧強度(・) N/m ² [5.12.2] 開閉形式 ※手動式 ・電動式(手動併用) [5.12.2][表5.12.1] 急降下停止装置等を設けた電動ｼｬｯﾀｰの設置箇所：・図示 障害物感知装置を設けた電動ｼｬｯﾀｰの設置箇所：・図示 スラット 厚さ(mm) ・0.5 ・0.6 ・0.8 ・1.0 [表5.12.2] 材質 ・JIS G 3312 ・JIS G 3322 [5.12.3] 形状 ※ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形 [5.12.4] ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等 ※鋼板製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304(厚さ1.5mm) [表5.12.2]	6 3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2][4.3.10] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ※図示 ・[4.3.10]ﾓﾙﾄﾙ塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ｽﾃﾝﾚｽ製ﾌｧｰﾐﾝｸﾞを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽ等を張る。 ・図示 6 木下地等 [6.5.1] 見え掛り面の表面仕上げ程度： ※ﾌﾟﾚｰﾅｰ加工仕上げ程度 ・超自動機械かんな ・サンダー ・ 7 製材 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材 <table><tr><th>品 名</th><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>等級</th><th>寸法</th><th>含水率</th><th>保存処理</th></tr><tr><td>・下地用</td><td>・</td><td>・</td><td>※2級</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・上小節 ・小節以上</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・造作用</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・広葉樹製材</td><td>・</td><td>・</td><td>※1等</td><td>※図示</td><td>※10%以下 ・A種・B種</td><td>・</td></tr></table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>材面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>※図示</td><td>・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種</td><td>・</td><td>・適用</td></tr></table> ・樹種のうち杉は、県産材を使用する	品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・	・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・	・造作用	・	・	・	・	・	・	・針葉樹製材		・	・	・	・	・	・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・	施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理	・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用	6 内 装 改 修 工 事																																																																																																							
品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理																																																																																																																																																										
・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・造作用	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																											
・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用																																																																																																																																																											
5 建 具 改 修 工 事	16 ｵｰﾊﾞｰﾊｯﾄﾞﾄﾞｱ	[5.13.2][5.13.3][表5.13.1] <table><tr><th>セクション材料</th><th>開閉方式</th><th>収納形式</th><th>ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ</th></tr><tr><td>※ｽﾃｰﾙタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ</td><td>※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾊｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形</td><td>・溶融亜鉛メッキ鋼板 ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)</td></tr></table> 耐風圧性能による区分 ・5.0 ・7.5 ・10.0 ・12.5 [5.13.2] ・合わせガラス (※その他は建具表による) [5.14.2] 特性による種類： ※ II-1類 ・ ・強化ガラス (※その他は建具表による) [5.14.2] 特性による種類： ※ III類(曲面はI類) ・ ・複層ガラス (※その他は建具表による) [5.14.2] 断熱性による区分：・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分：・G ・S 封入気体の種類： ・空気 ・熱線吸収板ガラス (※その他は建具表による) [5.14.2] 性能による種類： ・I種 ・II種 ・熱線反射ガラス (※その他は建具表による) [5.14.2] 日射熱遮蔽性による種類： ・1種 ・2種 ・3種 ・倍強度ガラス (※その他は建具表による) [5.14.2] ・ｶﾞﾗｽ端部で枠にのみ込まない部分の小口加工： ※行う [5.14.4] ・外部に面する網入・線入板ｶﾞﾗｽの下辺小口等の防錆処理： ※行う [5.14.4]	セクション材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ	※ｽﾃｰﾙタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・チェーン式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾊｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	・溶融亜鉛メッキ鋼板 ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)	6 3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2][4.3.10] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.3.10] ※図示 ・[4.3.10]ﾓﾙﾄﾙ塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ｽﾃﾝﾚｽ製ﾌｧｰﾐﾝｸﾞを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽ等を張る。 ・図示 6 木下地等 [6.5.1] 見え掛り面の表面仕上げ程度： ※ﾌﾟﾚｰﾅｰ加工仕上げ程度 ・超自動機械かんな ・サンダー ・ 7 製材 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材 <table><tr><th>品 名</th><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>等級</th><th>寸法</th><th>含水率</th><th>保存処理</th></tr><tr><td>・下地用</td><td>・</td><td>・</td><td>※2級</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・上小節 ・小節以上</td><td>※図示</td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>・造作用</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・針葉樹製材</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・広葉樹製材</td><td>・</td><td>・</td><td>※1等</td><td>※図示</td><td>※10%以下 ・A種・B種</td><td>・</td></tr></table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>材面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>※図示</td><td>・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種</td><td>・</td><td>・適用</td></tr></table> ・樹種のうち杉は、県産材を使用する	品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・	・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・	・造作用	・	・	・	・	・	・	・針葉樹製材		・	・	・	・	・	・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・	施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理	・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用	6 内 装 改 修 工 事																																																																																														
セクション材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ																																																																																																																																																													
※ｽﾃｰﾙタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・チェーン式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾊｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	・溶融亜鉛メッキ鋼板 ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)																																																																																																																																																													
品 名	施工箇所	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理																																																																																																																																																										
・下地用	・	・	※2級	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・上小節 ・小節以上	※図示	※A種・B種	・																																																																																																																																																										
・造作用	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・針葉樹製材		・	・	・	・	・																																																																																																																																																										
・広葉樹製材	・	・	※1等	※図示	※10%以下 ・A種・B種	・																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																											
・	・	※図示	・A種・B種 (造作材の場合) ※A種・B種	・	・適用																																																																																																																																																											
17 ｶﾞﾗｽ	・合わせガラス (※その他は建具表による) [5.14.2] 特性による種類： ※ II-1類 ・ ・強化ガラス (※その他は建具表による) [5.14.2] 特性による種類： ※ III類(曲面はI類) ・ ・複層ガラス (※その他は建具表による) [5.14.2] 断熱性による区分：・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分：・G ・S 封入気体の種類：																																																																																																																																																															

内装改修工事	6 23 壁紙張り	種 類 記 号 厚さ (mm) ・ ロックウール吸音ボード1号 RW－B ※25 ・ ※グラスウール吸音ボード32K GW－B ※25 ・ 壁紙の種類 防火性能の級別 備 考 紙製 織物 ビニル 化学繊維 無機質 ※不燃 ・準不燃 ・難燃 ※不燃・準不燃・難燃 モルタル、プラスチック面等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (施工箇所：) コンクリート面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (施工箇所：) せっこうボード面等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (施工箇所：) モルタル ・現場調査材料 (モルトは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による) ・既調合材料 既製品地材 ※適用しない ・適用する (形状：※図示) 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処理 ※図示	6 31 階段手すり	種類及び仕上げ 施工箇所 ※集成材材リブ加工仕上げ (市販品 径 約45mm又は約60mm) ・ ビニル製バンドレール (幅 約50mm) ・ 材 種 形状 両端フラットエンド 幅 (mm) 取付け工法 ※ステンレス (SUS304) ・アルミニウム ・黄銅 ※ビニル製入り ・ビニル製付無し ※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し ・50 ・65 ・75 ※接着工法 ・埋込み工法 種類 区分 種類 寸法 (mm) 備 考 ・黒板 ※焼付け ・ ・鋼製 ※図示 ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分 ・ホワイトボード ※図示 材 種 寸法 (mm) 突出型 面付型 文字形式 受 金 具 ※塩化ビニル製 ※260×80×5 ケ所 ケ所 ・文字書込み ※ステンレス (SUS304) ・アクリル樹脂製 ・ ケ所 ケ所 ・文字彫込み ・県産杉板材 ※260×80×12 ケ所 ケ所 ・カーテンリングシート ガラススクリーンに対する対人衝突防止表示の形状、寸法、材質：※図示 非常用進入口等の表示：・適用	6 44 しっくい塗り	※施工箇所 室 名 部 位 ※左官業者 新潟県左官業協同組合 (平成26年12月31日に解散した新潟県左官同業会を含む。以下、同様。) 主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。 ※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法 使用する材料については、材料の品質が確認できる品質規格票 (証明書) 等を監督員へ提出し、承諾を得たものとする。 上記以外については、「既調合しっくい塗り標準仕様書」 (新潟県土木部都市局管轄課) による。	7 8 耐水性塗料塗り (DP) 【8 節】	下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 上塗り塗料 鉄鋼面 ・1級 ・2級 ・3級 垂鉛めっき鋼面 ・1級 ・2級 ・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・A－1種 ・A－2種 ・B－1種 ・B－2種 ・C－1種 ・C－2種 ・A－1種 ・B－1種 ・C－1種 錆止め塗料については、本特記仕様書7-4 錆止め塗料塗り による	7 9 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) 【9 節】	下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 コンクリート面、モルタル面等 ・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種 木部 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ・B種 垂鉛めっき鋼面 ※A種 ・B種 ※A種	7 10 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) 【10 節】	塗替えの種類 新規塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種	7 11 クレタ樹脂ワニス塗り (UC) 【11 節】	塗替えの種類 新規塗りの種類 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種	7 12 ビタミンE入り塗り 【12 節】	※既調合製品 (JASS 18 M-306)	7 13 木材保護塗料塗り (WP) 【13 節】	塗替えの種類 新規塗りの種類 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種	8-1 耐震改修範囲以外の躯体改修工事	1 コンクリートの類別及び強度、品質 設計基準強度：※普通コンクリート・軽量コンクリート (・1種・2種) Fe (N/mm²) 適用箇所 スランプ ※24 ・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ ・柱 ・梁 ・スラブ ・壁 ・ 合板せき板を用いる場合の打直し仕上げ：・A種 ・B種 ・C種 コンクリートの仕上りの平たんさ：・a種 ・b種 ・c種 種類の記号 呼 び 名 (mm) ・SD295 ・D16 以下 ・SD345 ・D19 以上 ・ 網目の形状：※メッシュ溶接金網 寸法 (たて×よこ) (mm) 鉄筋の径または呼び (mm) ※100×100 ※6.0	8 2 鉄筋の種類	種類の記号 呼 び 名 (mm) ・SD295 ・D16 以下 ・SD345 ・D19 以上 ・	8 3 溶接金網	網目の形状：※メッシュ溶接金網 寸法 (たて×よこ) (mm) 鉄筋の径または呼び (mm) ※100×100 ※6.0	8 4 あと施工アンカー	引張耐力、せん断耐力：※図示 ・構造特記図面の記載による アンカーの径、埋込み長さ：※図示 ・構造特記図面の記載による あと施工アンカーの材料 ・金属拡張アンカー ・金属系アンカーの接合筋の種類、径、長さ：※図示 ※接着系アンカー (※ｶﾞｰﾙ方式の回転打撃式 ・ 接着系アンカー筋の種類：※図示 接着系アンカーの新設壁内への定着長さ：※図示 あと施工アンカーの性能確認試験の適用：・適用	8 5 セメントの種類	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全て 水和熱 7 d 352J/g 以下 28 d 402J/g 以下 ・普通エコセメント ・高炉セメントB種 (適用箇所：) ・フライアッシュセメントB種 (適用箇所：)	8 6 骨材の品質	アルカリ反応性による区分 ・A ※B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³)	8 7 混和材料の種類	※混和剤 ・混和材	8 8 型枠	スラブの材料、規格等 ※図示	8 9 鉄筋の継手	※重ね継手 ・	8 10 鉄筋の最小かぶり厚さ	
--------	-----------	---	------------	---	-------------	--	------------------------	--	--------------------------------------	--	-----------------------------------	--	-----------------------------	---	-----------------------	---	---------------------------	---	---------------------	--	-----------	---	----------	--	--------------	--	-------------	--	-----------	--	-------------	--	--------	---	-----------	--	-----------------	--------------------------

⑩

追

加

特

記

① 公共事業労務費調査への協力

※協力する

2 工事監理方式

・共同監理

③ 適用基準等

・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）
※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）

4 総合図

※作成する

5 工事成績評定

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。
（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

6 工事区分表

注）原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		建	電	空	衛	昇	備 考
躯体関係							
1.RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリフ材及び取付け	○	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○					
2.S・SRC造・はり貫通口	スリフ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○	
	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリフ・補強	○					
	使用されたスリフの穴埋め	○	○	○	○	○	
3.設備機器の基礎	予備スリフの穴埋め	○	○	○	○	○	
	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○			
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押さえコンにアカーしない軽微なもの		○	○	○		
	機器取付け用アカー・架台		○	○	○		
	屋内受水タンク用の基礎	○					
仕 上 げ 関 係							
軽鉄天井・壁下地	補強を用するボードの切り込み及び下地の補強	○					
	補強を要しないボードの切り込み		○	○	○		
	開口部の墨出し		○	○	○		
電 気 関 係							
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○		二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○		
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）							
天井材	取外し再取付（各種配管配線作業用）	○	△	△	△	△	小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	△	小規模は要協議
流し台、ガス台		○					
便所手洗いカウンター		○					衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台						○	
ガス漏れ警報器						○	
24H換気扇	機器納入					○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入					○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備
再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備 考			
発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備 考			
受入工事名／施設名称							
工事場所／施設所在地							
連絡先							
仮置場所の有無							
備考							

⑩

追

加

特

記

④ 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	ボート類・廃プラ類・金属くず類
処理施設名称	柳環境保全事業
施設所在地	佐渡市真野新町814番地1
連絡先	51-2195
備考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

⑥ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

⑦ 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

8 化学物質の濃度測定

[1. 7. 10]

測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。

測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。

※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6）の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下）

※トルエン（指定値0.07ppm以下）

※キシレン（指定値0.05ppm以下）

※エチルベンゼン（指定値0.88ppm以下）

※スチレン（指定値0.05ppm以下）

・パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下）

3)測定室

・

・

・

・

室（測定箇所）

室（測定箇所）

室（測定箇所）

室（測定箇所）

4)測定方法

測定機器

※バンプ型採取機器

・監督員の承諾する機器

測定要領（バンプ型測定法の場合）

※ 測定前の措置

測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※ 測定は次のイ～ハによる。

イ 上記測定前の措置の状態のまま測定する。

ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。

ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

※ その他

上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

5) 測定結果の分析

測定対象化学物質を採取したバンプ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

6)測定結果が指針値を超えた場合の措置

※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4）、5）により、測定を行う。

7)報告書の提出

※測定結果の報告書を完了検査日までに監督員に提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

9 中間技術検査

10

追

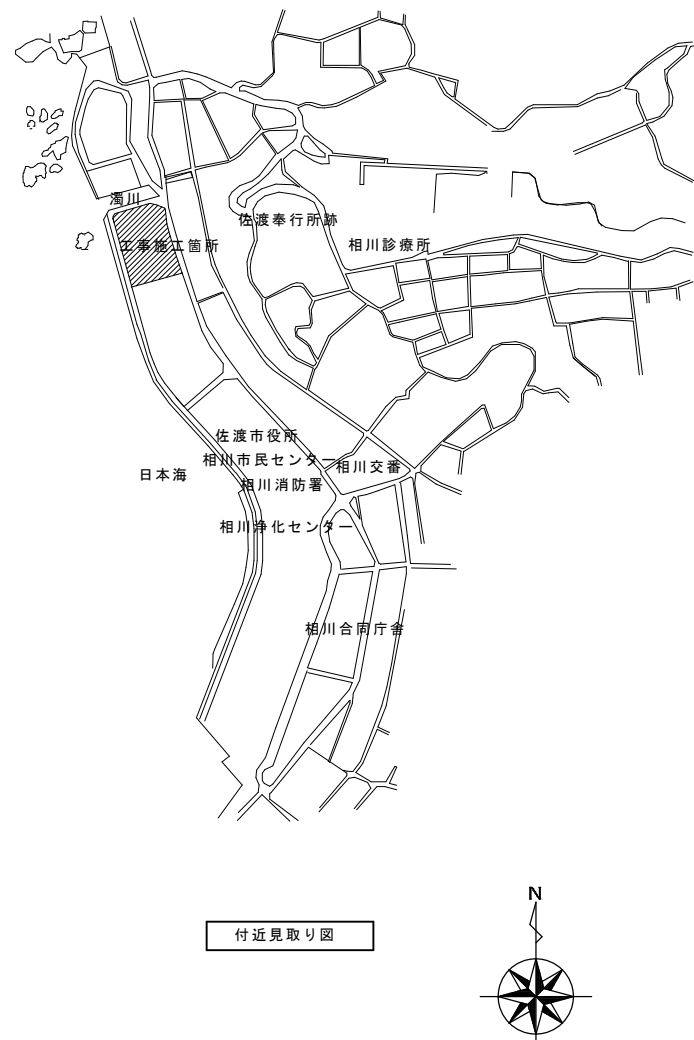
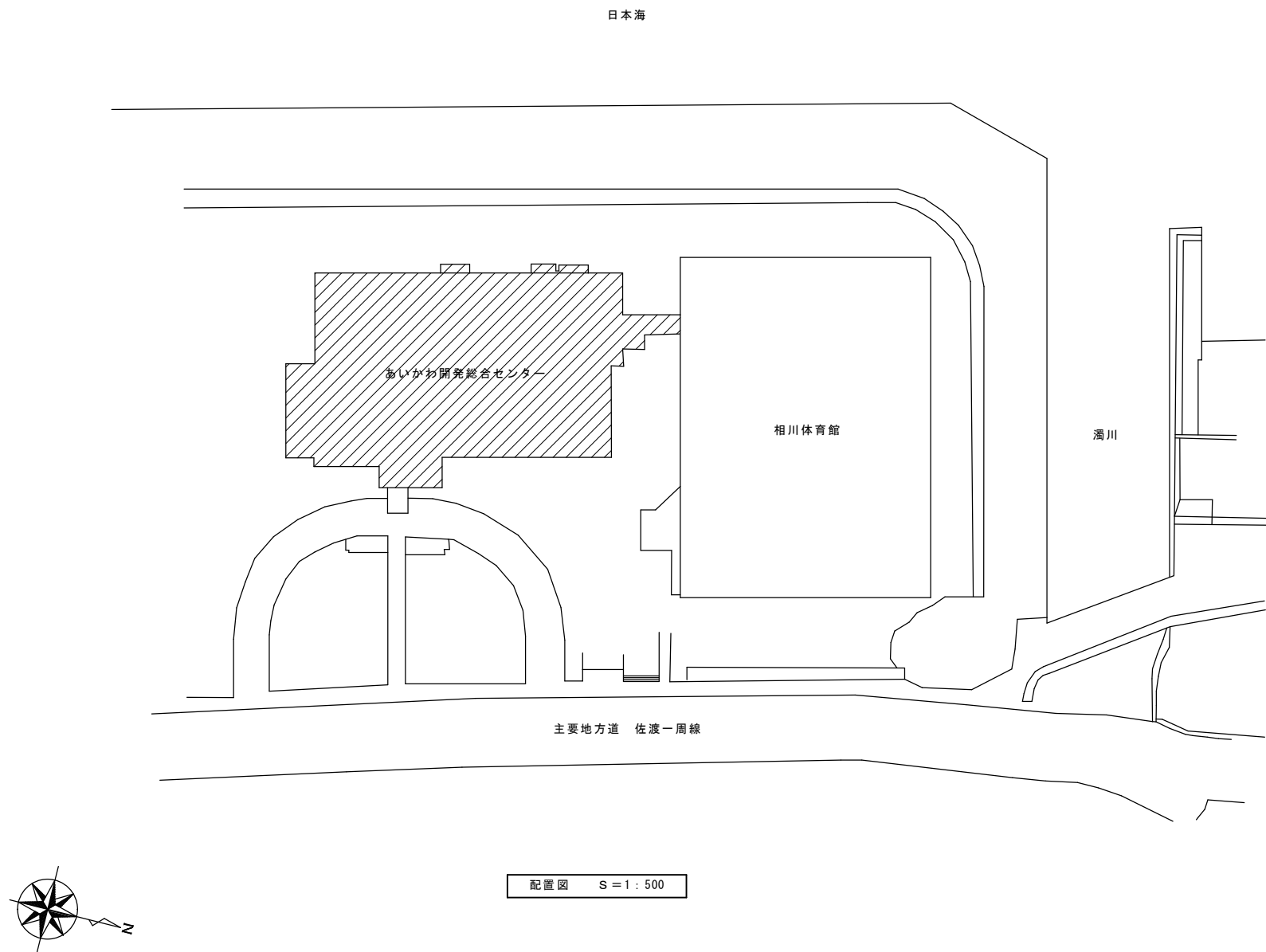
加

特

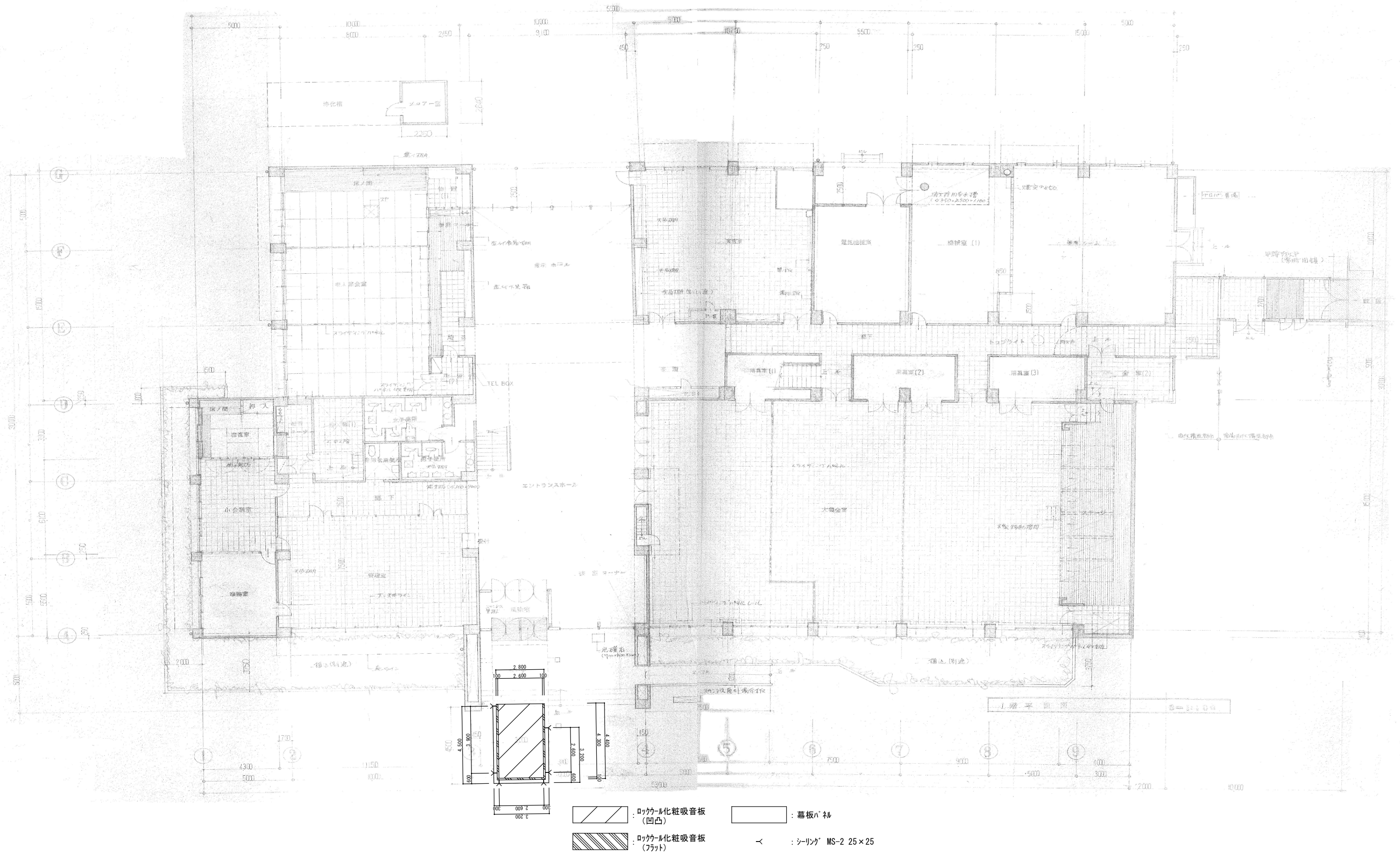
記

番号に○印を付けたものを適用する。

工事名称		縮尺	FREE	佐渡市教育委員会 社会教育課	確認	担当	作図	図面 No.
図面名称					作成日			
あいかわ開発総合センター玄関ポーチ復旧工事								A - 06
建築改修工事特記仕様書6					2026. 08			



工 事 概 要	
工 事 名	あいかわ開発総合センター玄関ポーチ復旧工事
建物概要	建物名称：あいかわ開発総合センター
	所 在 地：佐渡市 相川栄町 地内
	構 造：鉄筋コンクリート造 2階建て
	延床面積：2062.61㎡
工事内容	あいかわ開発総合センター玄関ポーチの幕板及び軒天を復旧する工事



- ：ロックウール化粧吸音板 (凹凸)
：幕板ハル
：ロックウール化粧吸音板 (フラット)
：シーリング MS-2 25×25

工事名称 あいかわ開発総合センター玄関ポーチ復旧工事
図面名称 1階平面図

縮尺 A1 1:100
A3 1:200

佐渡市教育委員会社会教育課

確認 担当 作図
作成日 2026.08

旧図転用
図面 No. A - 08

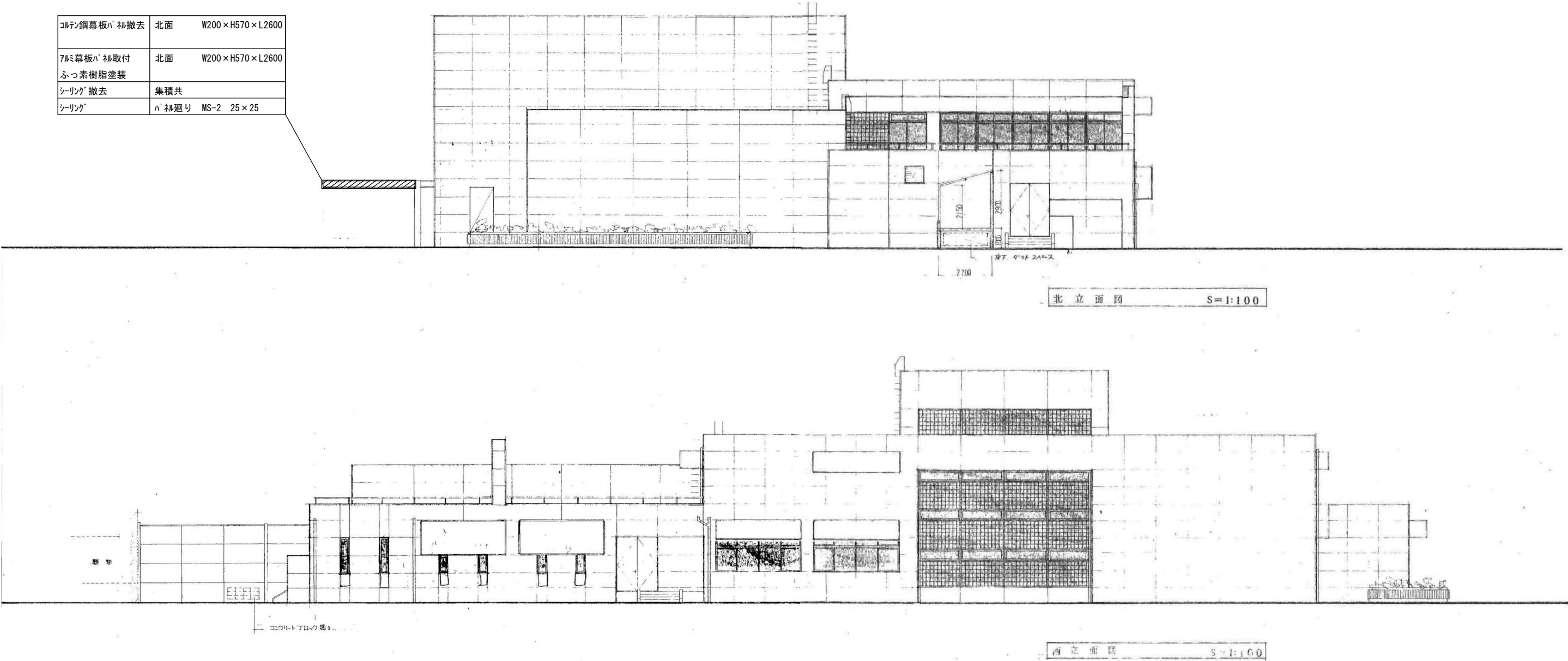


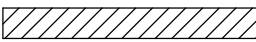
This architectural drawing shows the elevation of a building facade. The central feature is a tall, narrow entrance with a small canopy supported by a single column. To the left of the entrance is a multi-story section with two rows of large, dark-tinted glass windows. To the right is a long, low section with a continuous row of large glass windows. The drawing uses fine lines for structural elements and stippling for shading and texture. The ground level is indicated by a hatched line at the bottom.

コルテン銅幕板バネ撤去	東面	W200×H570×L2600
	東面コーナー	W200×H570×L600+300
アルミ幕板バネ取付	東面	W200×H570×L2600
ふっ素樹脂塗装	東面コーナー	W200×H570×L600+300
シーリング撤去	集積共	
シーリング	バネ廻り	MS-2 25×25

図面 No. A — 09

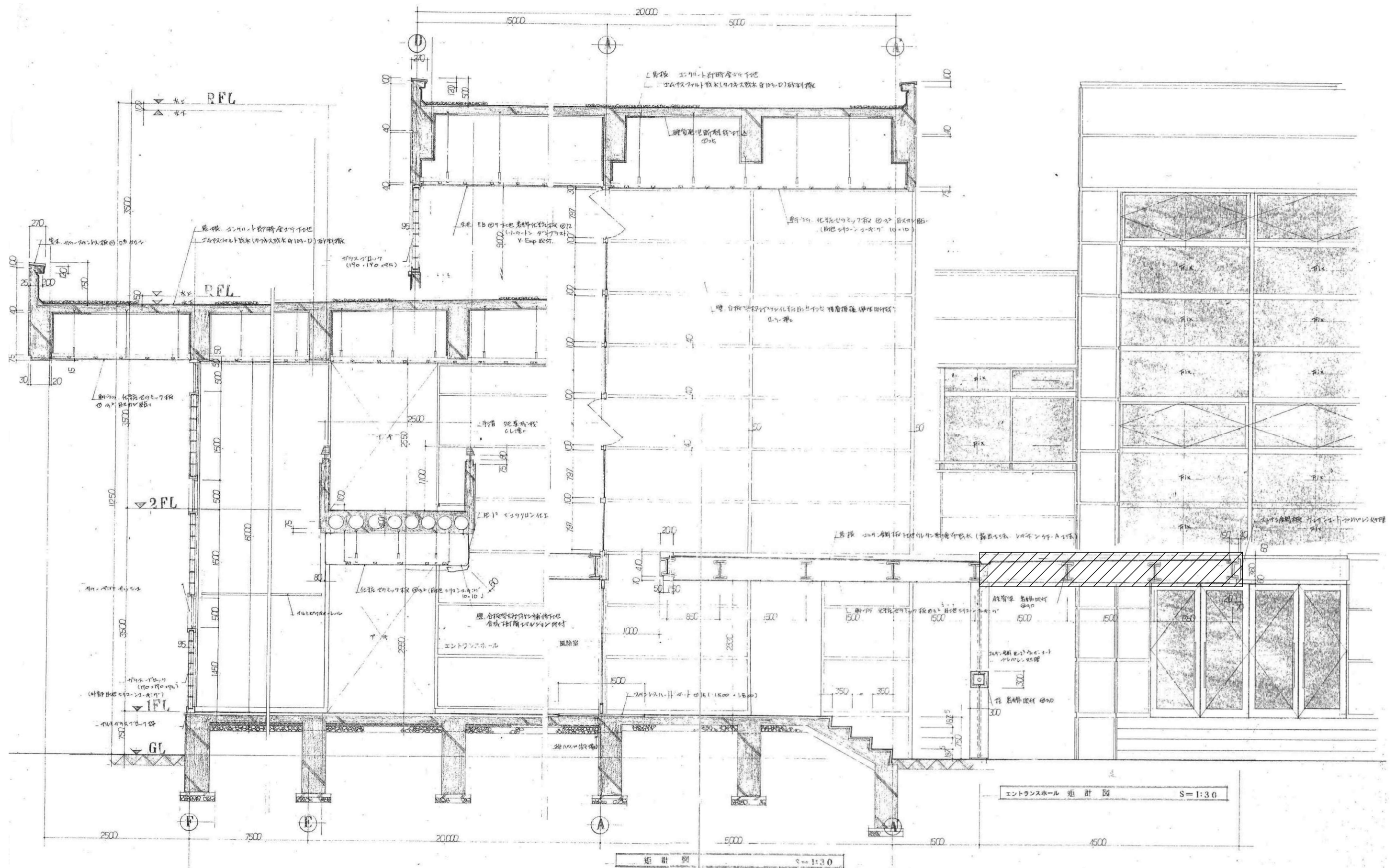
コルテン銅幕板ハ` 剥撤去	北面	W200×H570×L2600
アルミ幕板ハ` 剥取付 ふっ素樹脂塗装	北面	W200×H570×L2600
シーリング` 撤去	集積共	
シーリング`	ハ` 剥廻り	MS-2 25×25



 : 改修範囲

旧図転用

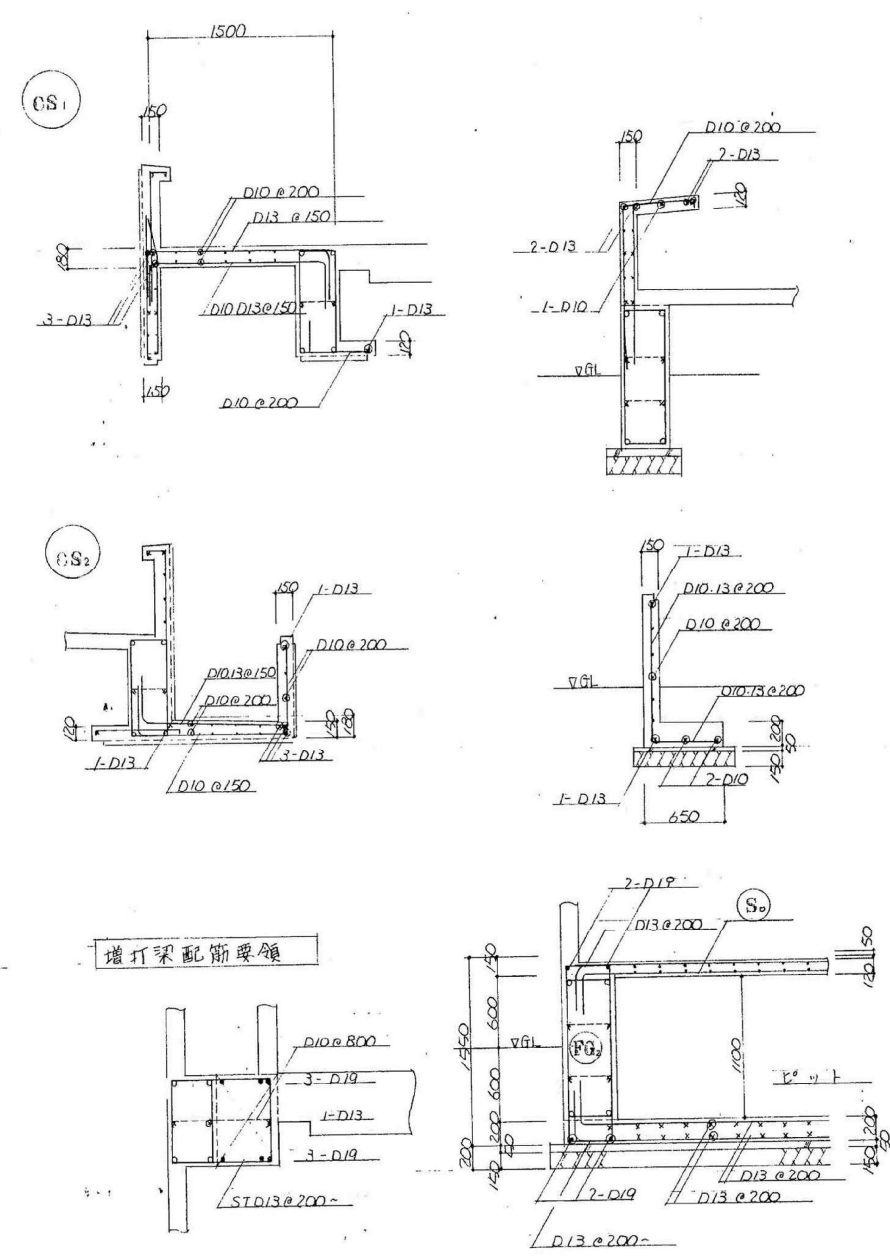
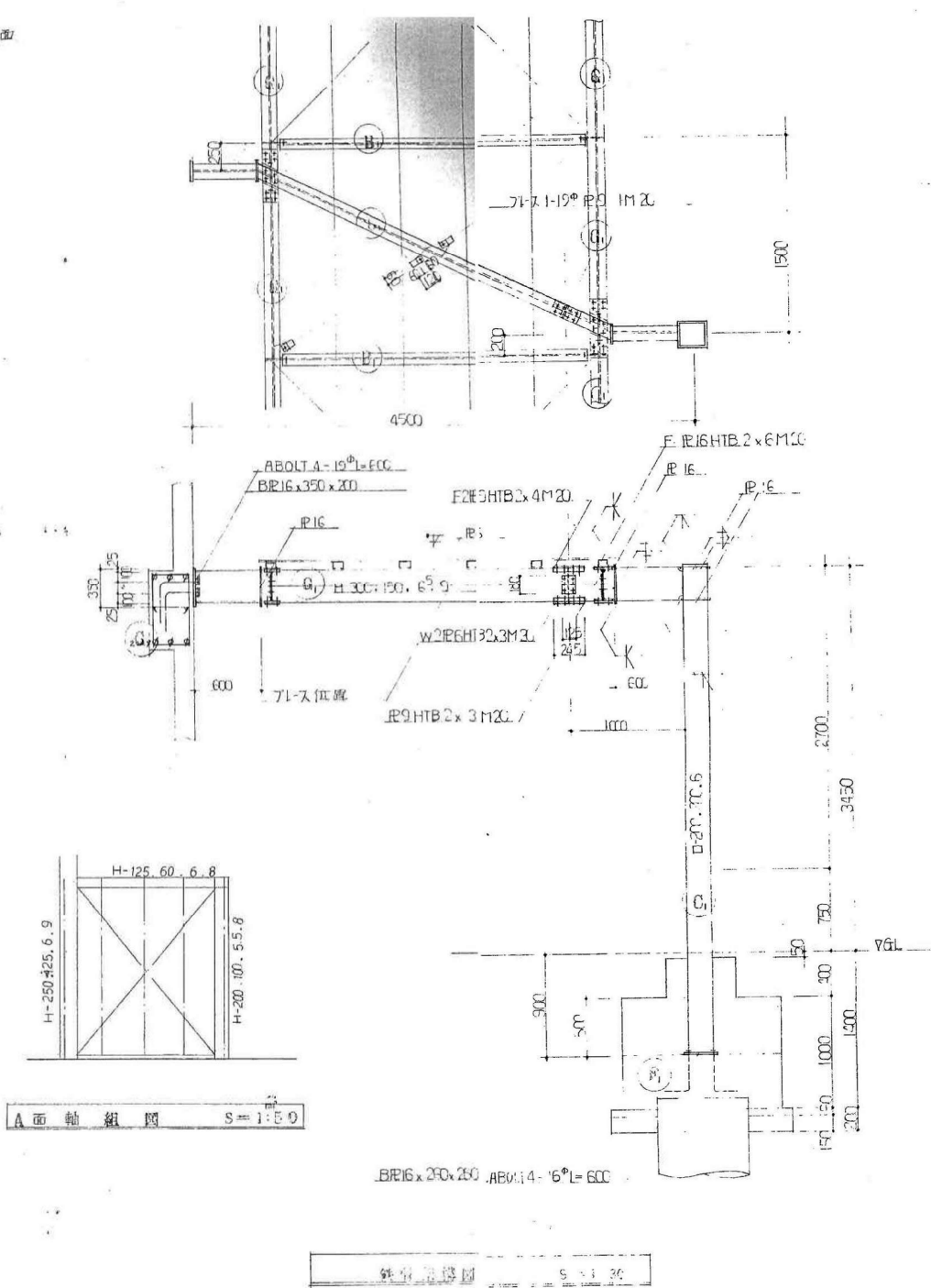
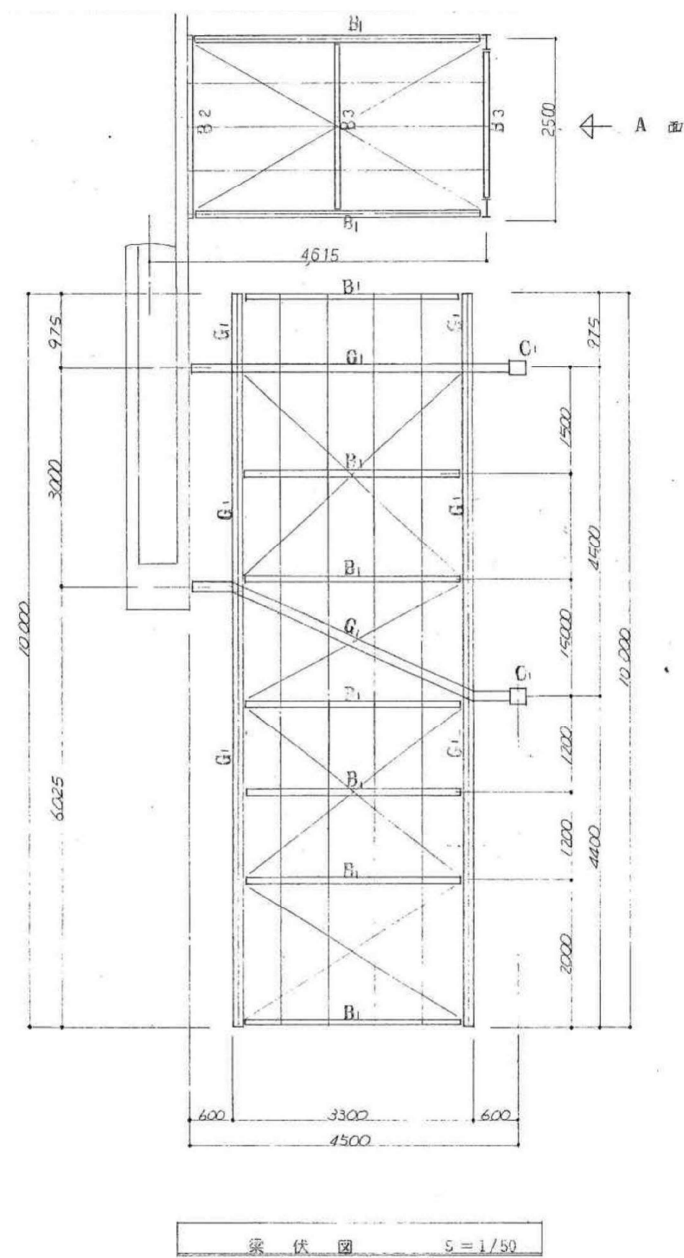
工事名称	あいかわ開発総合センター玄関ポーチ復旧工事	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	佐渡市教育委員会社会教育課	確認 担当	作成 日	2026.08	図面No. A - 10
図面名称	北面・西面立面図							



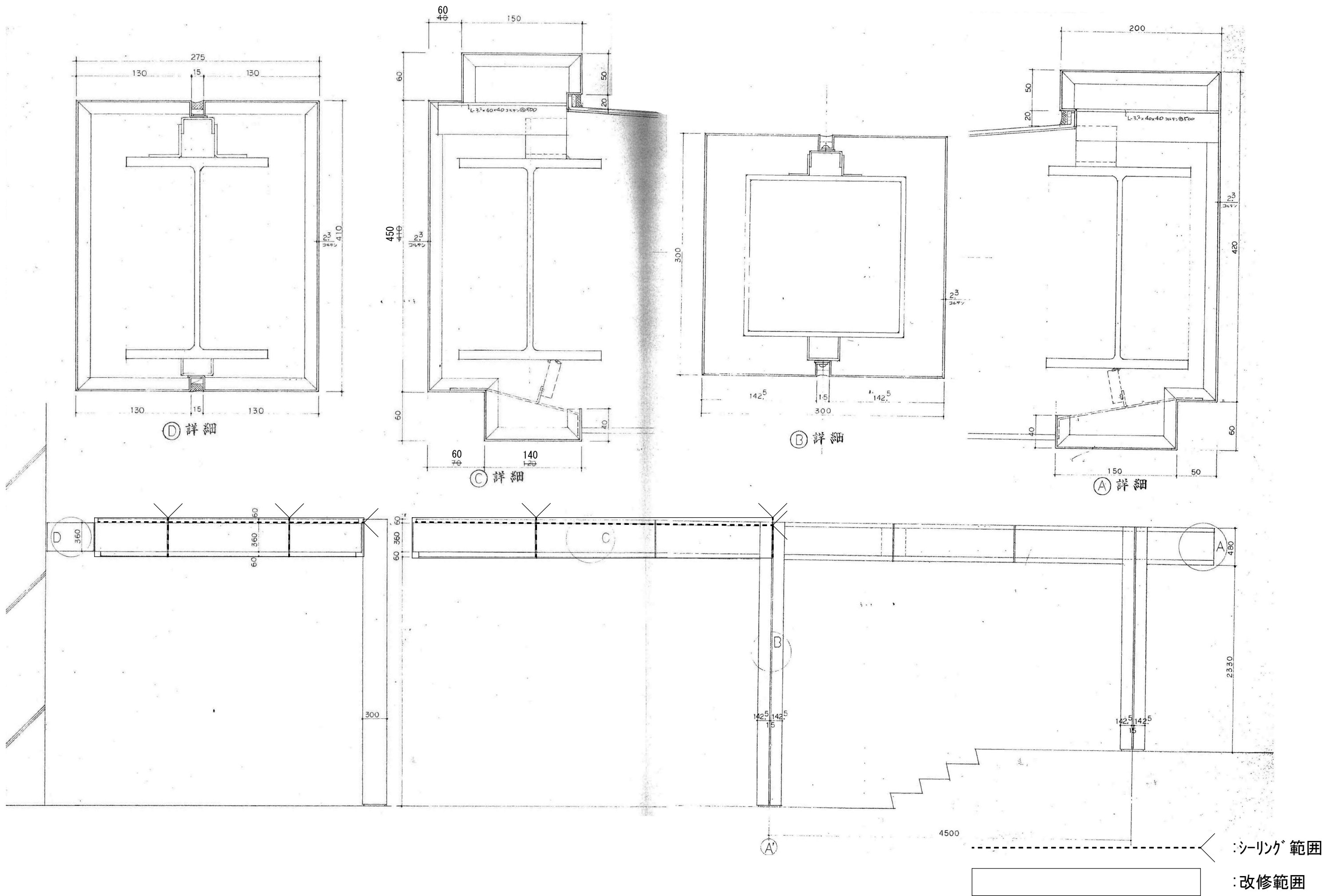
改修範囲

旧図転用・参考

工事名称	あいかわ開発総合センター玄関ポーチ復旧工事	縮尺	A1 1:30 A3 1:60	佐渡市教育委員会社会教育課	確認 作成日	担当 2026.08	作図	図面No.	A - 11
図面名称	矩計図								



部材リスト		
符号	部	備考
C	D-300, 200, 6	BR16 ABOLT-19 L=600
G	H-300, 150, 65, 9	W2R6HTB2x3x1120 F2R6HTB2x4x1120
B ₁	H-150, 75, 5, 7	R6HTB2-M16
F	C-100, 50, 20, 2 ³	
71-ス	Φ1-19 ⁶	R9HTB1-M20
B ₂	C-125, 65, 6	ABOLT-19 ⁶
B ₃	H-125, 60, 6, 8	



：シーリング 範囲

：改修範囲

旧図転用・参考

工事名称 あいかわ開発総合センター玄関ポーチ復旧工事
図面名称 詳細図

縮尺 A1 1:20
A3 1:40

佐渡市教育委員会社会教育課

確認 担当 作成
作成日 2026.08

図面 No. A - 13